

リメンバーしんぶん 第39号

2009.9.27

★10月の遺族会は10月12日（月・祝）北生涯学習センターです

13時開場、13時15分スタートです。

いつもと場所が違います！ご注意ください！

地下鉄 名城線 「黒川」駅(4番出口) 下車 徒歩5分



4番出口の地上に、「リメンバー名古屋」という看板を持った案内係が立っていますので、方角がわからぬときはおたずねください。

※公共交通機関でお越し下さい。

※会場予約名は「リメンバー名古屋」となっています。

※参加費は500円です。（今まで1000円でしたが、しばらくの間500円とさせていただきます。）

★次回以降の予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

12月20日（日）北生涯学習センター 視聴覚室にて行います。

終了後、黒川駅周辺で「望年会」を予定しております。

★自死遺族相談のお知らせ

名古屋市精神福祉センターで毎月第3火曜日の午前中に自死遺族相談を行っています。

10月20日（火） 11月17日（火） 10時～12時でお一人様1時間ずつです。

- ◆ 対象者： 名古屋市在住、在勤、在学の、大切な人を自死でなくされた方。但し、名古屋市以外の方でもお断りすることはありません。
- ◆ お申し込み： 名古屋市精神福祉センター宛にお願いします。
- ◆ 電話番号： 052-483-2095
- ◆ 場所： 名古屋市精神福祉センター 中村区名楽町4-7-18中村保健所5階
地下鉄東山線『中村日赤』駅下車
- ◆ 担当相談員： 臨床心理士でリメンバー名古屋代表幹事の一人である近藤が行います。

★秋の遠足のお知らせ

■日 時：2009年11月1日（日） 午前11時30分～ 16時ぐらいまで

■集合場所：11:30 名鉄豊田新線（地下鉄鶴舞線乗り入れ）黒 笹駅前に集合

■行き先：愛知牧場（愛知県日進市米野木町南山977）バーベキューをします。

※雨天時も決行します（屋根があります）

■参加費：3,000円 程度を予定 （追加食材、飲み物により前後します）

■申し込み先：リメンバー名古屋事務局 （メール・ファックス・郵便等でお申し込み）
お名前（ニックネーム可）、

ご連絡先（メール、電話、FAXなど。当日連絡できるものであれば助かります。）
をお知らせください。

e-メール：remember_nagoya@yahoo.co.jp

FAX：020-4668-8925（電話ではありません）

郵便：〒458-8799 緑郵便局留め

■申し込み期限：10月25日（日）まで

■キャンセルについて：

お申し込み後、キャンセルの方は29日（木）までに、ご連絡ください。

★リメンバー文庫の貸出をはじめました

遺族会当日に本の貸出を行うことに致しました。自死遺族の手記、死別の悲しみの癒しに関する本などを取り揃えています。これらの本は、参加者の方から寄贈していただいたものや、昨年度のイベントの予算の中で購入したものです。

8月の遺族会から、試験的に貸出をスタートしました。本は、原則として、次に参加する遺族会でご返却ください。半年以上会に参加できないときは、郵送でご返却いただいても結構です。

現在所蔵している本の一覧

タイトル	著者名	出版社名	金額（税込）
自ら逝ったあなた、遺された私 ～家族の自死と向きあう	平山正実監修・ グリーフケアサポートプラザ編	朝日選書	1,365
神さま、なぜママを死なせたの ～親に死なれた子ども達の声	ジル クレメンツ	偕成社	1,470
普及版 モリー先生との火曜日	ミッチ・アルボム	NHK出版；普及版版	998
自殺で家族を亡くして ～私たち遺族の物語	全国自死遺族 総合支援センター	三省堂	1,575
身近な死の経験に学ぶ	平山 正実・A・デーケン	春秋社	1,575
悲しみを超えて ～愛する人の死から立ち直るために	キャロル シュトーダッシャー	創元社	3,360

子どもの喪失と悲しみを癒すガイド ～生きること・失うこと	リンダ ゴールドマン	創元社	2,100
『さようなら』ついていさせて	ジム ボウルデイン	大修館書店	945
自死という生き方 ～覚悟して逝った哲学者	須原 一秀	双葉社	1,890
死者の贈り物～詩集	長田 弘	みすず書房	1,890
自殺で遺された人たち(サバイバー)のサポートガイド ～苦しみを分かち合う癒やしの方法	アン・スマーリン	明石書店	2,520
自殺って言えなかった。	自死遺児編集委員会	サンマーク出版	1,365
「さよなら」を大切な人にいうんだ	マージイ ヒーガード	法蔵館	1,050
自殺、そして遺された人々	高橋 祥友	新興医学出版社	2,730
自死、遺された人たち一死別の悲嘆によりそつて (教学伝道研究センター ブックレット)	教学伝道研究センター 現代宗教課題研究部会 「別離の悲しみを考える会」	本願寺出版社	840
ふくふく—海から生まれた愛の物語	堤 江実 (著), 吉野 雄輔	PHP 研究所	
大切な涙	近藤浩子・鷹見	表現文化社	180
悲しい本	マイケル・ローゼン (著), ケンティン・ブレイク (イラスト) ・谷川 俊太郎 (翻訳)	あかね書房	
最後だとわかっていたなら	ノーマ コーネット マレック	サンクチュアリ出版	1050
ある日、僕は星になりました。 ～天の國のおはなし	くまがいなおみ	日本ヴォーグ社	1470
「ありがとう」が言いたくて ～健一と過ごした日々～	松岡洋子	生涯学習研究社	
いつでも会える	菊田まり子	学研	998
レアの星～友だちの死～	パトリック・ジルソン	くもん出版	1365
小さな小さなおとうとだったけど	高橋妙子作山本まつ子絵	あかね書房	1300
いつだって始まり	星野あつよ	新風舎	1050
あとに残された人へ 1000 の風	南風椎／訳	三五館	1020
もういちど 会える	葉祥明	大和書房	1680
天国のお兄ちゃんへ ～なぜ自殺したの？～	哀澤かすみ	ブイツーソリューション	1260
エヴァはおねえちゃんのいない国で	ティエリーロブレヒト文、 フィリップ・ホーセンス絵	くもん出版	1365
わすれられないおくりもの	スザン・バーレイさくえ	評論社	1260
ひかりの世界	葉祥明	佼成出版社	1680
きつねのでんわボックス	戸田和代作 たかすかずみ絵	金の星社	1200
君に贈る最後の手紙	リチャード＆クリスティーン カールソン著	日本実業出版社	1050
自殺した子どもの親たち	若林一美	青弓社	1680
いじめの中で生きるあなたへ ～大人から伝えたい「ごめんね」のメッセージ	小森美登里	WAVE 出版	1365
あおむしの旅	モリアキオ	東京図書出版会	578
大切な人を亡くしたときに	NPO 法人生と死を考える会	NPO 法人生と死を考える会	
千の風になって	新井満	講談社	1050
永遠の風	辻堂司	講談社	
おおきなかわのむこうへ	アルミニ・ボイシャー文 コルネリア・ハース絵 いとうみゆき訳	ひくまの出版	

★冊子「自死遺族の手紙」に掲載する原稿を募集します

リメンバー名古屋自死遺族の会の設立六周年企画として、冊子を発行します。
今回で四冊目の発行となります。

今年は、手紙形式での募集です。

自死で亡くなった大切な方への手紙、あの時の自分への手紙、これから自分への手紙など、今の思いを、手紙にしたためてみませんか。

その日のこと、今の思い、大切な人との関わり……。

思い出して、それを言葉にし、書くということは、ときにつらく、苦しい作業であるかと思います。

どうぞ、ご無理のない範囲でお書きください。

■寄稿期限 ・・・ 2010年1月31日

■掲載について ・・・ 冊子全体の趣旨などを考慮し、当会の判断により、必ずしも寄稿いただいたすべてを掲載できない場合があります。あらかじめご了承ください。

■内容 ・・・ 「手紙」形式にて、思いをお寄せください。

※「手紙」以外の、手記、詩、短歌などの応募も歓迎致します。

※掲載にあたり、内容、表現についてご相談させていただく場合があります。

■字数 ・・・ 字数制限は特に設けませんが、長い場合調整をお願いする場合があります。

■寄稿方法 ・・・ できれば、ワープロファイルでお送りください。手書きでも結構です。

下記メールアドレスに送付、または、手書きの場合は、遺族会に持参していただくか、下記住所まで郵送してください。

今後、ご連絡させていただく必要があるため、ご住所・お名前・電話番号・メールアドレスを必ずお知らせください。(情報の秘密は厳守いたします)

メール : remember_nagoya@yahoo.co.jp

郵送 : 〒458-8799 名古屋市緑郵便局留め リメンバー名古屋自死遺族の会

■掲載時のお名前等 ・・・ 匿名、ペンネームで結構です。どのように掲載するかご指定ください。

■冊子の配布など ・・・ 遺族会、公共の場所、民間会社など、幅広く不特定多数に、無償、あるいは、原価程度を基本とした有償にて配布する場合があります。

■二次利用など ・・・ 各文章の著作権は作者の方に属し、許可なく二次利用はいたしません。

新聞・ホームページなど他媒体での引用依頼等があった場合は、都度作者の方に確認させていただきます。

■発行時期 ・・・ 2010年3月を予定

ただし、寄稿数によっては延期、中止する場合があります。

■発行部数 ・・・ 1000冊程を予定していますが増減する場合があります。

■その他 ・・・ 応募原稿は返却いたしません。

★読者の方へのお願い（特にマスコミ関係の方へ）

この冊子は、当会が基本活動として行っている「わかちあい」の一環として、主に自死遺族当事者同士及び作者本人のセルフサポートを目的として募集・発行しているものです。多くの自死遺族の方に読んでいただきたいと考えております。本冊子を各方面で紹介いただく際には、以下の点にご留意いただきますよう、お願い申し上げます。

・個々の文章の著作権は、作者に帰属しています。

・著者への連絡は、リメンバー名古屋自死遺族の会の事務局を介していただきますようお願い致します。

・新聞、ホームページ等、他媒体での冊子内文章の無断引用は固くお断り致します。

★一言日記



先日、静岡へ行きました。沼津で新鮮なお刺身を頂き、隣にいた常連客の方が

『沼津は良いところだよ。旨いものは海も山もあるから何でもあるさ～富士山のおかげでお水も美味しいよ！』と教えてくれました。

翌日、「よし、富士山を見に行こう！」と思い立ち、富士宮駅から徒歩10分、富士山本宮浅間大社へ。道中富士山が見えて感動しました。浅間大社の中に、沸玉池という富士山からの湧き水でできた天然記念物の池があり、お水が透き通っていて、冷たくて美味しく、富士の恵みを味わいました。電車でも車でも、由比から富士までの間に広がる駿河湾を望むことができます。青い海の反対側には富士山という絶景は、何度見ても心穏やかになります。

日常の生活から離れ、綺麗なもの、壮大なものを見ること、美味しいご当地のものを吃るのは、リフレッシュになりました。

★郵送会員のみなさまへ

郵送でのご連絡を希望される方は、年会費をお願い致します。遺族会の当日にお支払い頂いても結構です。

◎ 郵送会員への登録方法

リメンバーしんぶんの郵送を希望される方は、「郵送会員」年会費をお支払いください。リメンバーしんぶんを発行の都度、郵送致します。(最新号は遺族会で配布しておりますし、最新の情報はホームページからもごらんになりますので、インターネットにつながる環境をお持ちの方は、郵送会員に登録される必要はありません。また、遺族会開催情報は「りめーる」でも配信しています。)「郵送会員」の年度は、事務管理の都合上、1月1日より12月末までとさせていただいています。

登録の手続きは、郵便番号・住所・氏名を記入の上年会費1000円をご送金いただくな、80円切手13枚をご郵送ください。(7月以降にお申し込みの方は500円で結構です)

郵送会員入金用 郵便振替口座 00800-3-166920

★会の連絡先

■e-メール : remember_nagoya@yahoo.co.jp

■FAX : 020-4668-8925 ■郵便 : 〒458-8799 名古屋市緑郵便局留め

■電話 : 090-8544-9408 (応答メッセージのみ)

「この電話を転送します、そのままお待ちください。」というメッセージが流れ、応答メッセージにつながります。応答メッセージは1分間程度で、次回の遺族会の日時や場所などのご案内が流れます。

※電話をかけてくださった方からメッセージを録音することはできません。

※遺族会当日以外は、スタッフが電話をとることはできません。(充電しておりません)

次回、電話開通時間は、10月12日(月・祝) 12:00~13:40

編集 Y. N